

安全データシート

作成・改定日

2019年7月25日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

UV クラフトレジン

会社名
担当部門

東邦化成工業株式会社
技術部

住所

〒171-0033
東京都豊島区高田2-1-12

電話番号

03-3988-3366

FAX番号

03-3985-6975

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

区分外、分類対象外もしくは分類できない

健康に対する有害性

区分外、分類対象外もしくは分類できない

環境に対する有害性

区分外、分類対象外もしくは分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

吸入すると有害。
生殖能力または胎児への悪影響の恐れ。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

皮膚感作性区分1の成分を1%未満含有する。
変異原性が認められた既存化学物質1%未満含む。
直射日光、熱により重合を起こすことがある。
熱せられたり火災に巻き込まれると爆発的に重合する恐れがある。
熱や燃焼により分解し、刺激性又は有害なガス(COx)を生じる。
自己重合性があり、容器の破裂を生ずることがある。

注意書き
[安全対策]

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。
環境への放出を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄すること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚(または髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。

3. 組成・成分情報

単一物質、混合物の区別

混合物

化学名

オリゴエステルアクリレート

成分	含有量(%)	化審法	CAS No.
アクリル酸化合物	85.0~95.0	-	-
添加剤	3.5~5.5	(2)-3330	7575-23-7
重合開始剤	4.5~6.5	(4)-1397	947-19-3

4. 応急処置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要な場合には人工呼吸を行い、医療機関に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、多量の水を飲ませること。
直ちに医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

皮膚に付着した場合、皮膚に炎症を起こすことがある。
眼に入った場合、角膜に炎症を起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特定の危険有害性

加熱により容器が爆発する恐れがある。
火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生する恐れがある。

特定の消火方法

火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消化する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
周囲の設備などに散水して冷却する。
消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護
(保護具等)

消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和

吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸収させ、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となる物を速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱及び保管上の注意

[取扱]
技術的な対策
(取扱者のばく露防止、火災爆発の防止など)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
直射日光、高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化剤との接触を避ける。

局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	<p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p> <p>接触、吸入又は飲み込まないこと。</p> <p>眼、皮膚に付けないこと。</p> <p>ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>換気の良い場所で使用すること。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p>
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照
[保管] 保管条件	<p>火気、直射日光、熱源を避けること。</p> <p>酸化剤から離して保管すること。</p> <p>冷所、換気の良い場所で容器を密閉して保管すること。</p>
混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料	密閉式容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産業衛生学会	設定されていない
ACGIH	設定されていない
設備対策	<p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。</p>
[保護具] 呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	<p>適切な眼の保護具を着用すること。</p> <p>保護眼鏡(普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型)</p>
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	淡黄色透明液体
臭い	僅かに臭気あり
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点	104°C
引火点	113°C
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気 = 1)	データなし
比重(密度)	1.0~1.3
溶解度	水に不溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	420°C
分解温度	299°C

10. 安定性及び反応性

安定性	常温、常圧下では安定。 温度上昇や光により重合することがある。
危険有害反応可能性	強酸、強アルカリ、酸化剤等と混合すると反応する。 急激な加熱、直射日光、紫外線照射等により発熱を伴う重合を起こす。
避けるべき条件	紫外線、熱、高温、静電気
混触危険物質	過酸化物、強酸化剤、塩基、酸
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素等の有害ガスが発生する恐れがある。



11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。



汚染容器及び包装

容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報：消防法の規定に従う
海上規制情報：船舶安全法の規定に従う
航空規制情報：航空法の規定に従う
国連番号：非該当

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法
(アクリル酸化合物)

第9条の4 危険物の規制に関する政令第1条の12 別表第4
指定可燃物
第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ

16. その他の情報

注意

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。